



水稻 殺虫・殺菌剤 / 育苗箱施用剤

ウンカ類

チョウ目

初期害虫

いもち病

紋枯病

は種時から

WCS\*使用可

# フルスロットル®

FULL THROTTLE

新規有効成分配合

ピラキサルト™



トビイロウンカ



コブノメイガ



イネミズゾウムシ



いもち病



紋枯病

抵抗性

# ウンカに 効き目抜群

『は種時の処理が可能』  
『長い残効性』

Pyraxalt™ active

powered by  
CYAZYPYR®  
ACTIVE INGREDIENT



TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標  
CYAZYPYR® は、FMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。  
フルスロットル® はクマイ化学工業(株)の登録商標

※WCS:稲発酵粗飼料

# フルスロットル<sup>®</sup> 箱粒剤

有効成分	シアントラニリプロール…0.75% トリフルメゾピリム ……0.75% イソチアニル ……2.0% ペンフルフェン ……2.0%
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

## 特長

薬剤抵抗性ウンカ類に  
高い効果

いもち病、紋枯病をはじめとする  
主要病害虫に優れた効果と長い残効性

は種時から移植当日まで  
使用可能

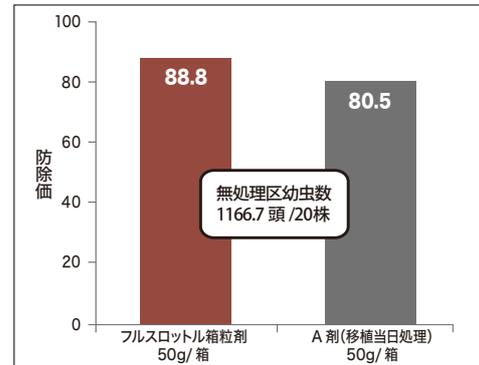
### ◆ 適用病害虫と使用方法

2019年10月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメゾピリムを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガイ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～ 移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	1回	1回	3回以内 (移植時までの 処理は 1回以内、 本田では 2回以内)	1回
	内穎褐変病 穂 枯 れ(ごま葉枯病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌)		移植当日						

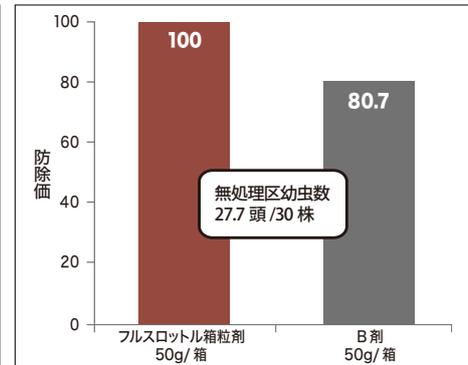
### ◆ 新農薬実用化試験成績

#### ◇トビイロウンカに対する効果(播種時処理)



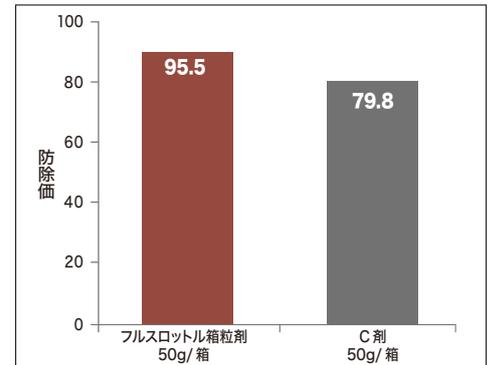
平成 28 年 クミアイ化学工業 (株) 佐賀県現地圃場  
(自社委託試験)  
品 種：さがびより  
区制・面積：1区 158.4 m<sup>2</sup> (4.8×33m)  
播 種：5月16日 移植：6月16日  
処 理 日：5月16日  
発生状況：少発生→多発生  
調 査 日：10月6日(移植112日後)  
調査方法：20株×3か所について払落し調査をした。

#### ◇トビイロウンカに対する効果(移植当日処理)



平成 26 年 日植防宮崎  
品 種：ヒノヒカリ  
区制・面積：1区 102 m<sup>2</sup> (6×17m)  
播 種：6月1日 移植：6月23日  
処 理 日：6月23日  
発生状況：中発生  
調 査 日：9月17日(移植86日後)  
調査方法：20株×3か所について払落し調査をした。

#### ◇紋枯病に対する効果(移植当日処理)



平成 27 年 鳥取県農業試験場  
品 種：きぬむすめ  
区制・面積：1区 50 m<sup>2</sup> (10×5m)  
播 種：4月28日 移植：5月19日  
処 理 日：5月19日  
発生状況：多発生(接種)  
調 査 日：9月16日(出穂33日後)  
調査方法：50株×3か所について被害度より防除値を算出した。

### 【使用上の注意事項】

- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 育苗箱の土壌表面が乾燥していて苗を田植え機にのせる際、薬剤が落下するおそれがある場合は散布後葉に付着した薬剤を払い落とした後軽く灌水してください。
- 軟弱徒長苗、老化苗、むれ苗などでは葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じやすいので代かきは丁寧におこない、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- さく等その他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

本資料は2020年7月現在の知見に基づいて制作しております。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 防除日誌を記帳しましょう。